

令和 5 年 度

小学校教員資格認定試験

教科及び教職に関する科目(Ⅲ)

注 意 事 項

受験者は、下記の注意事項に従うこと。それ以外の注意事項は全て試験監督者の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 小学校の 10 教科の中から、1教科を選択して受験してください。
3. 問題は 2 問とも解答してください。
4. 解答用紙は、1 問につき 1 枚(表のみ)使用してください。
5. 算用数字は 1 マスに 2 文字、記号及びアルファベットは 1 マスに 1 文字とします。また、句読点も 1 文字と数えます。問題において特段の指示があるものは、これにかかわらず問題の指示のとおりとします。
6. 解答する教科名、受験番号、氏名を解答用紙の指定された欄に 2 枚とも必ず記入してください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があってから 120 分です。(「教科及び教職に関する科目(Ⅳ)」の解答時間も含まれます。)
8. 試験が終わるまで退室できません。
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があったら、直ちにやめてください。
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 問題文中の「小学校学習指導要領」とは「小学校学習指導要領」(平成 29 年 3 月文部科学省告示第 63 号)における対応する教科の章又は節を指し、各教科の『小学校学習指導要領解説』とは文部科学省『小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説』(平成 29 年 7 月)の対応する教科のものを指すものとします。
12. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。
13. 各教科のページ数は次ページの目次に記載しています。

目 次

1. 国 語	1
2. 社 会	4
3. 算 数	8
4. 理 科	11
5. 生 活	14
6. 音 楽	17
7. 図画工作	20
8. 家 庭	23
9. 体 育	27
10. 外 国 語(英語)	30

国語

問 1 次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1), (2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 1 学年及び第 2 学年〕 2 内容〔知識及び技能〕」には、次の指導事項が示されている。

オ 身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には意味による語句のまとまりがあることに気付き、語彙を豊かにすること。

この事項を指導するに当たり、「身近なことを表す語句の量を増し、話や文章の中で使う」ことができるようにするためには、どのような学習指導が考えられるか。具体的な学習場面を挙げて 100 字以上 150 字以内で記述しなさい。

- (2) 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 5 学年及び第 6 学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 C 読むこと」には、次の指導事項が示されている。

ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。

この事項について、「学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動」を通して指導することにした。その際、児童が文章などを読む目的の例としてどのようなことが挙げられるか、各 30 字以内で二つ記述しなさい。

問 2 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 5 学年及び第 6 学年〕 2 内容〔思考力、判断力、表現力等〕 A 話すこと・聞くこと」には、次の指導事項が示されている。

オ 互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。

この指導事項に示された資質・能力の育成を目指して、〔思考力、判断力、表現力等〕の「A 話すこと・聞くこと」の言語活動例「ウ それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動」を通して指導を行いたい。そこで、学校全体で取り組んでいる地域の自然を大切にする活動との関連を図り、第 6 学年の授業で、「地域の自然を大切にする活動を進めるために重要なことは何だろう」というテーマで話し合い、児童一人一人が自分の考えを広げたり、まとめたりすることができるようにしたいと考えた。その際、児童 3～4 名程度が意見を述べた後、学級の児童全員が協議に参加するという形式で話し合うことができるよう、全体で 6 時間の学習活動を進めることとした。

あなたならどのような授業を考え、どのように指導を行うか。学校全体で取り組んでいる地域の自然を大切にする活動との関連を図ることで期待される国語科の学習指導上の効果に触れながら、6 時間の学習指導全体が分かるように、600 字以上 800 字以内で記述しなさい。

社 会

問 1 「小学校学習指導要領」の「第 1 目標」には、次の内容が示されている。

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

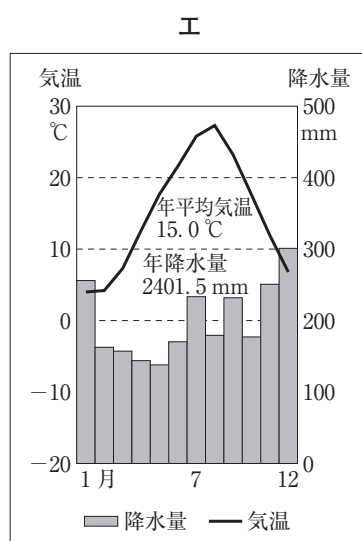
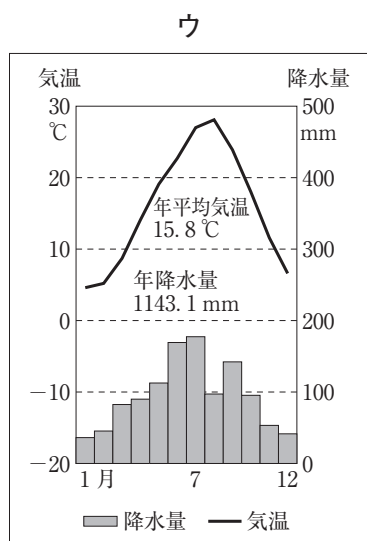
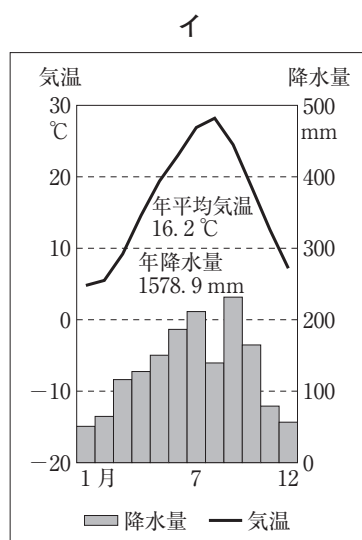
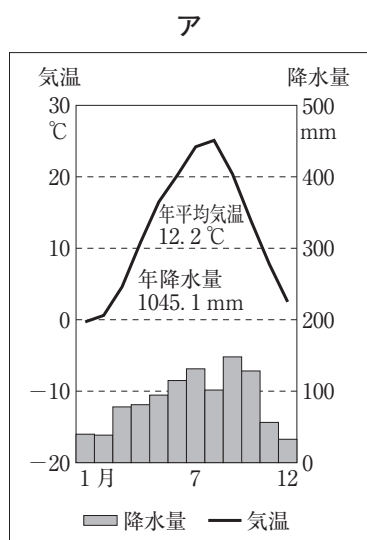
- (1) 地域や我が国の国土の地理的環境，現代社会の仕組みや働き，地域や我が国の歴史や伝統と文化を通して社会生活について理解するとともに，様々な資料や調査活動を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の特色や相互の関連，意味を多角的に考えたり，社会に見られる課題を把握して，その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断したりする力，考えたことや選択・判断したことを適切に表現する力を養う。
- (3) 社会的事象について，よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする態度を養うとともに，多角的な思考や理解を通して，地域社会に対する誇りと愛情，地域社会の一員としての自覚，我が国の国土と歴史に対する愛情，我が国の将来を担う国民としての自覚，世界の国々の人々と共に生きていくことの大切さについての自覚などを養う。

このことに関する次の各問いについて，解答用紙の行頭 1 文字目に(1)～(3)の問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) 下線部①に関して、「課題を追究したり解決したりする活動」の充実を図るには、「問題解決的な学習過程を充実させることが大切になる」とされている。『小学校学習指導要領解説』の「第 2 章 社会科の目標及び内容 第 1 節 社会科の目標」に基づけば，問題解決的な学習とは，どのような学習か，また，その学習過程の充実を図るには，どのような工夫が必要となるか。社会科の教科目標や「主体的・対話的で深い学びの実現」という視点を加味しながら，220 字程度で記述しなさい。
- (2) 下線部②に関して，第 5 学年及び第 6 学年の目標においては，「各種の基礎的資料を通して，情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける」とされている。ここでいう「適切に」とは，どのような点に留意して，調べまとめることなのか，120 字程度で記述しなさい。
- (3) 下線部③に関して，「地域社会の一員としての自覚」を養うことは，第 4 学年の目標にも掲げられている。第 4 学年において「地域社会の一員としての自覚」を養うためには，どのような意識を養うことが必要となるか。第 4 学年の学習内容を踏まえて，100 字程度で具体的に記述しなさい。

問 2 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 5 学年〕 2 内容」には、「地形や気候などに着目して、国土の自然などの様子や自然条件から見て特色ある地域の人々の生活を捉え、国土の自然環境の特色やそれらと国民生活との関連を考え、表現すること」が示されている。このことを踏まえて、日本の気候に関する次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)～(3)の問題番号を書いた後に答えなさい。なお、(1)、(2)については、解答用紙の行頭 2 文字目に①～④の番号を書いた後に答えること。

(1) 日本の気候は、北海道の気候、日本海側の気候、内陸性(中央高地)の気候、太平洋側の気候、瀬戸内の気候、南西諸島の気候の六つに区分される。次の図ア～エは、それぞれ金沢、松本、名古屋、岡山のいずれかの地点における月別平均気温と降水量を示したグラフである。このことに関して、次ページの①～④の気候に該当するグラフを図ア～エの中から選び、それぞれ記号で答えなさい。なお、①～④の解答で同じ記号を複数回使用しないこと。



『理科年表 2023』より作成

- ① 日本海側の気候
- ② 内陸性(中央高地)の気候
- ③ 太平洋側の気候
- ④ 瀬戸内の気候

(2) 日本海側の気候, 内陸性(中央高地)の気候, 太平洋側の気候, 瀬戸内の気候の特色について, 各 30~40 字程度で記述しなさい。

- ① 日本海側の気候の特色
- ② 内陸性(中央高地)の気候の特色
- ③ 太平洋側の気候の特色
- ④ 瀬戸内の気候の特色

(3) 日本の気候は, 夏は南東の季節風, 冬は北西の季節風の影響を受ける。なぜ, 日本では夏の季節風は南東から, 冬の季節風は北西から吹くのか, 150~160 字程度で記述しなさい。

算 数

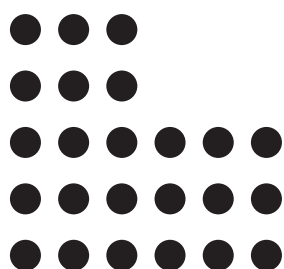
問 1 第 2 学年の「乗法」の授業において、本時の目標と問題を次のとおりとする。

【本時の目標】

もの数を求める問題を解決するに当たって、九九が適用できるように工夫するとともに、図や式、言葉を結び付けて考え表現する力を養う。

【問題】

かけ算を使って●の数を求めましょう。



次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1), (2)の問題番号を書いた後に答えなさい。
なお、図や式は、解答用紙のマス目に合わせる必要はない。

- (1) 児童はどのように考えて問題を解決するのか、解決方法を二通り考え、図と式を用いて記述しなさい。
- (2) 算数科の目標「学習を振り返ってよりよく問題解決しようとする態度」を養うために、問題を解決した後、本時の終末において、最初に提示した図とは異なる図を提示することによって、考察を深めるようにしたい。どのような図を提示して、考察を深めることが考えられるか、図を用いて記述しなさい。ただし、用いる図は複数でもよいこととする。

問 2 次の手順に従って行われる数当てゲームについて考える。

【手順】

- ① 2桁の自然数を一つ思い浮かべてください。
(例えば, 13)
- ② その数を10倍して, そこから9の段の九九の中の好きな数を一つ引いてください。
(例えば, 9の段の九九から18を選んだとすると, $13 \times 10 - 18 = 112$)
- ③ その結果を教えてください。
- ④ あなたが最初に思い浮かべた2桁の自然数は□ですね。

次の各問いについて, 解答用紙の行頭1文字目に(1)~(3)の問題番号を書いた後に答えなさい。
なお, 計算過程の式は, 解答用紙のマス目に合わせる必要はない。

- (1) 手順①で思い浮かべた2桁の自然数は「56」で, 手順②で9の段の九九の中から「27」を選んだ相手が, 手順③に対して答える数を求めなさい。ただし, 計算過程についても記述すること。
- (2) 手順③に対して「236」と答えた相手が, 手順①で思い浮かべた2桁の自然数を求めなさい。
- (3) 手順③で相手が答えた結果から, 手順①で思い浮かべた2桁の自然数を求めることができる理由を説明しなさい。

理 科

問 1 第 4 学年の内容「金属，水，空気と温度」を扱う単元では，「金属，水及び空気は，温めたり冷やしたりすると，それらの体積が変わるが，その程度には違いがあること」を学習する。このことに関する次の各問いについて，解答用紙の行頭 1 文字目に(1)～(3)の問題番号を書いた後に答えなさい。なお，(1)については，解答用紙の行頭 2 文字目に①，②の番号を書いた後に答えること。

(1) 次の法則はそれぞれ何というか。各 50 字以内で記述しなさい。

- ① 気体の体積の圧力変化に対する依存性を示した法則
- ② 気体の体積の温度変化に対する依存性を示した法則

(2) 空気を温めたり冷やしたりすると体積が変わることを，児童が実感できる簡単な実験で示したい。どのような実験を行えばよいか。変化を分かりやすく捉えさせる工夫や注意点を含め，実験方法を 350 字以内で記述しなさい。

(3) 水を温めたり冷やしたりすると体積が変わることを，児童が実感できる簡単な実験で示したい。どのような実験を行えばよいか。変化を分かりやすく捉えさせる工夫や注意点を含め，実験方法を 350 字以内で記述しなさい。

問 2 第 6 学年の内容「月と太陽」を扱う単元では、「月の輝いている側に太陽があること。また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わることを学習する。このことに関する次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)～(3)の問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) 「月」とはどのようなものか、100 字以内で記述しなさい。

- (2) 「月の輝いている側に太陽があること。また、月の形の見え方は、太陽と月との位置関係によって変わることを児童に理解させたい。どのような観察をすると、このことが調べられるか。観察方法を 350 字以内で記述しなさい。

- (3) (2)で記述した観察をするに当たり、配慮することを 350 字以内で記述しなさい。

生 活

問 1 第 1 学年において「あきとあそぼう」という単元の授業を行う。次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)~(3)の問題番号を書いた後に答えなさい。

- (1) 『小学校学習指導要領解説』の「第 3 章 生活科の内容 第 2 節 生活科の内容」の(6)には、遊びの面白さが三つ挙げられている。それら三つを、簡条書きで一つにつき 25 字以内で記述しなさい。
- (2) 本単元では、どのような秋の素材を使い、どのような遊びをする活動が想定できるか。次の例を参考に、具体的な遊びを三つ挙げ、簡条書きで一つにつき 50 字以内で記述しなさい。
例. ドングリでコマを作ってコマ回しをする。
- (3) 遊びを通して気付きの質を高めるために、どのような活動を取り入れるとよいか。取り入れるとよい活動を四つ挙げ、簡条書きで一つにつき 50 字以内で記述しなさい。

問 2 生活科の学習評価に関する次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1), (2)の問題番号を書いた後に答えなさい。なお, (2)については, 解答用紙の行頭 2 文字目に①～④の番号を書いた後に答えること。

- (1) 『小学校学習指導要領解説』の「第 5 章 指導計画の作成と学習指導 第 3 節 単元計画の作成 5 学習評価の在り方」には, 「評価に当たっては, 『量的な面』だけでなく, 『質的な面』から捉えるように注意する必要がある」と示されている。このことについて, 具体的な評価方法の例を挙げながら説明しなさい。なお, 「量的な面」についての例は一つ, 「質的な面」についての例は二つ挙げ, 全て合わせて 200 字以内で記述すること。
- (2) 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 生活』(令和 2 年 3 月 国立教育政策研究所)には, 「内容のまとめりごとの評価規準」の作成について「生活科における『内容のまとめり』の記述には(中略) 4 つの要素が構造的に組み込まれている」と示されている。次に示す「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容〔第 1 学年及び第 2 学年〕 2 内容」の記述を基に, 「4 つの要素」とは何かを説明し, それぞれの要素に該当する部分を次の記述から抜き出し, 全て合わせて 400 字以内で記述しなさい。

(1) 学校生活に関わる活動を通して, 学校の施設の様子や学校生活を支えている人々や友達, 通学路の様子やその安全を守っている人々などについて考えることができ, 学校での生活は様々な人や施設と関わっていることが分かり, 楽しく安心して遊びや生活をしたり, 安全な登下校をしたりしようとする。

音 楽

問 1 次の(1)～(5)の中から2つ選んで、時代、国や地域、曲の特徴や様式や内容、演奏の形態について、各100字以上150字以内で記述しなさい。なお、解答用紙の行頭1文字目に、選んだ(1)～(5)の番号を書いた後に記述すること。

- (1) 山田耕筰作曲 《赤とんぼ》
- (2) バッハ作曲 《マタイ受難曲 BWV244》
- (3) 外山雄三作曲 《管弦楽のためのラプソディ》
- (4) 日本古謡 《越天楽今様》
- (5) ロドリゲス作曲 《ラ・クンパルシータ》

問 2 「小学校学習指導要領」の「第 2 各学年の目標及び内容」に示された「A 表現」の「歌唱の活動」を通して身に付ける技能は、低学年と高学年ではどのように異なるか。具体的な指導例を挙げながら 400 字以上 600 字以内で記述しなさい。

图画工作

問 1 中学年における「立体に表す」活動で、粘土を材料に自分が将来住んでみたいと思う町をつくる「粘土マイタウン」の授業を行うことにする。このことに関する次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1), (2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

(1) この授業の指導案を作成することを前提に、次の①～③の観点で授業の目標を各 100 字以内で記述しなさい。なお、解答用紙の行頭 2 文字目に①～③の番号を書いた後に記述すること。

- ① 知識及び技能
- ② 思考力, 判断力, 表現力等
- ③ 学びに向かう力, 人間性等

(2) この授業を次のような展開計画で実施する。表中の空欄 ① ~ ④ に当てはまる内容について、①, ② は各 50 字以上 100 字以内で、③, ④ は各 25 字以内で記述しなさい。なお、解答用紙の行頭 2 文字目に①～④の番号を書いた後に記述すること。

場面	教師の言葉	児童の活動や言葉について
導入	「みんなは将来どんな町に住んでみたいですか？どんな建物があったり、何があったりすると面白いかな？その町で何をしてみたいですか？」	将来住んでみたい町について想像し、そこにあってほしいものを発表する活動
展開	「 ① 」(活動を始める際の言葉)	「自分が住んでみたい家をつくろう」
	「 ② 」(児童の活動を促す支援の言葉)	(③ : 予想される活動)
	「友達の町とつなげて、大きな町をつくってみましょう」	「道路や川をつくって友達の作品とつなげてみたいな」
振り返り (鑑賞)	「さあ、みんなの町をお散歩してみよう」	「自分たちの大きな町ができたよ」 「 ④ 」(予想される言葉)

問 2 「小学校学習指導要領」の「第 3 指導計画の作成と内容の取扱い」において「各学年の内容の『A 表現』及び『B 鑑賞』の指導については相互の関連を図るようにすること」とある。このことに関する次の各問いについて、解答用紙の行頭 1 文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後に答えなさい。なお、(1)については、解答用紙の行頭 2 文字目に①～③の番号を書いた後に答えること。

(1) 『小学校学習指導要領解説』の内容を踏まえ、「相互の関連を図る」理由について、次の文章中の空欄 ① ～ ③ に当てはまる内容を各 50 字以上 100 字以内で記述しなさい。

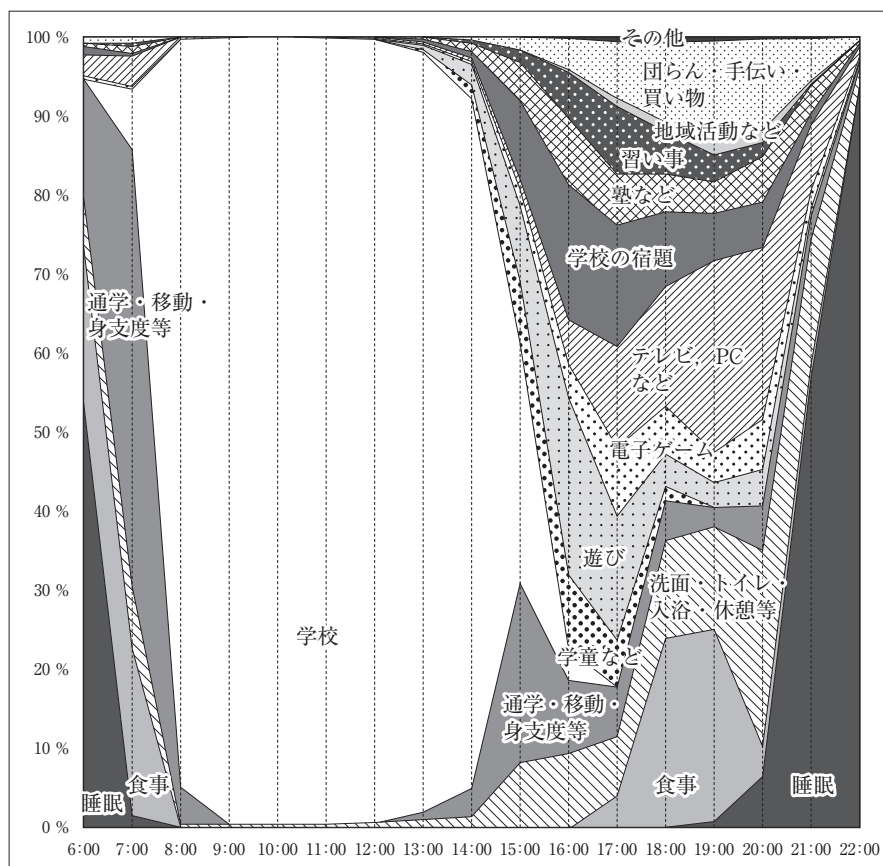
表現と鑑賞の指導において相互の関連を図る理由は、① からである。例えば一つの題材において、表現(造形活動)においては②、鑑賞においては③ ような配慮が大切である。

(2) 低学年における「たのしくうつして(紙版画)」という「絵に表す」活動の授業の中で、表現と鑑賞の活動の相互の関連を図った指導はどのように行われるか、各 50 字以上 100 字以内で三つ記述しなさい。解答は、一つごとに改行し、「授業のどのような場面か」「鑑賞する対象は何か」「鑑賞することによりどのような学びができるか」を明確に読み取れるように記述すること。

家 庭

問 1 小学校 3 校において，児童と保護者宛てに生活時間調査票を配布し，3 日間(平日 2 日と土曜日 1 日)の 24 時間の時間の使い方を記入してもらい，回収・集計・分析した。次の図は，調査に協力した小学生の平日 1 日の生活時間を示したものである。縦軸は行為率を示し，横軸は時刻を示している。このことに関する下の各問いについて，解答用紙の行頭 1 文字目に(1)，(2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

図 1 日の生活時間 (平日 3 校全体)

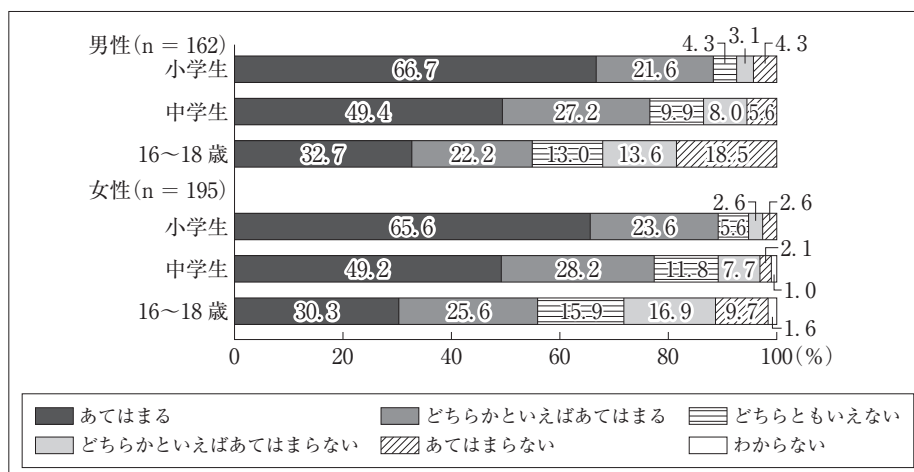


(注) その時間帯に活動している生活時間の割合，総数：水曜日+木曜日 延べ 914 人
 出典：「子どもの生活時間に関する調査研究」(平成 26 年一般財団法人子ども未来財団)

- (1) 小学生の放課後の生活時間の特徴について，300 字以内で記述しなさい。
- (2) (1)を踏まえて，生活時間の有効な使い方に関する学習活動について，何を目的とするのか，その目的を達成するために，どのような学習活動上の工夫をするのか，具体的に 500 字以内で記述しなさい。

問 2 「朝食から健康な1日の生活を」という単元の授業を行うことになった。あなたは次の図1～3の調査結果を活用した学習活動を行おうと考えている。このことに関する次ページの各問いについて、解答用紙の行頭1文字目に(1)、(2)の問題番号を書いた後に答えなさい。

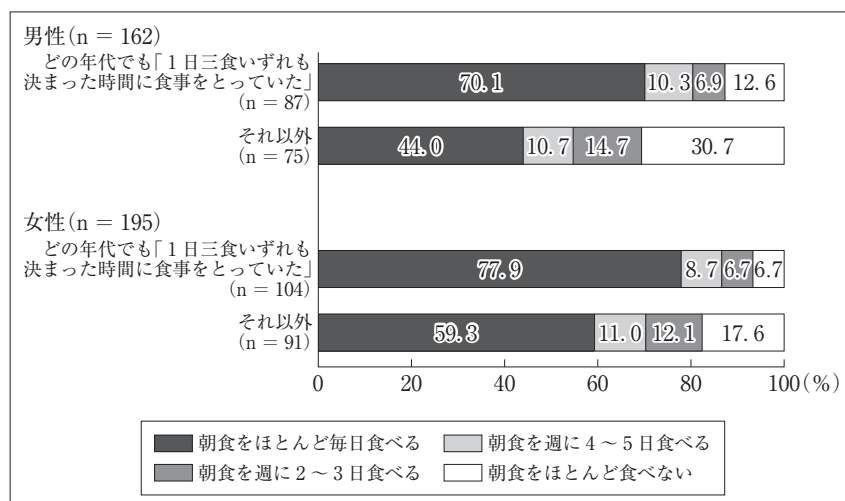
図1 若い世代における1日三食いずれも決まった時間に食事をとっていた人の割合(性別)



(注) 20～30歳代を対象に小学生、中学生、16～18歳の頃の食生活を振り返り、「1日三食いずれも決まった時間に食事をとっていた」かどうかを調査した結果である。

出典：「食育に関する意識調査」(令和元(2019)年10月農林水産省)より作成

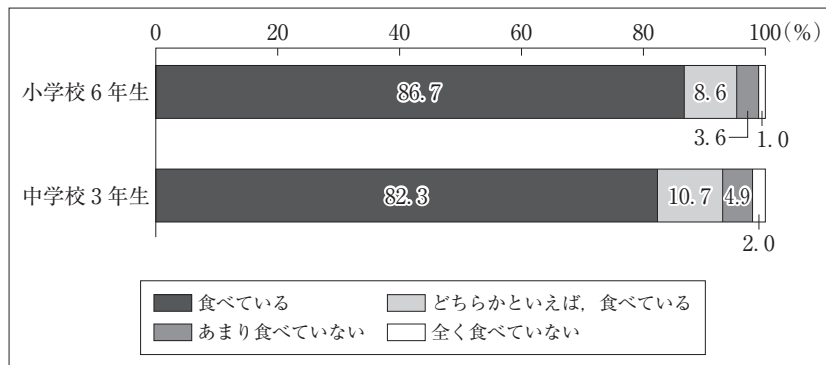
図2 若い世代における子供の頃の食生活(1日三食いずれも決まった時間に食事をとっていた)と現在の朝食摂取との関連(性別)



(注) 20～30歳代を対象に小学生、中学生、16～18歳の頃の食生活を振り返り、どの年代においても「1日三食いずれも決まった時間に食事をとっていた」かどうかを調査した結果である。

出典：「食育に関する意識調査」(令和元(2019)年10月農林水産省)より作成

図3 朝食を毎日食べている小・中学生の割合



出典：「全国学力・学習状況調査」(令和元(2019)年度文部科学省)より作成

- (1) 小学生の「食習慣」について、図1～3から分かることを300字以内で記述しなさい。
- (2) なぜ小学生に「朝食をとること」を推奨しているのか、その理由を示した上で、図1～3の調査結果を活用した学習活動の例を500字以内で記述しなさい。

体 育

問 1 『小学校学習指導要領解説』を踏まえ、中学年のゲームにおける運動に意欲的でない児童への配慮について、次の六つの語句を全て用いて 400～600 字程度で記述しなさい。なお、用いた六つの語句には、下線を引くこと(複数回用いた場合にも、その全てに下線を引くこと)。

【語句(使用する順番は問わない)】

「規則」 「勝敗」 「友達の考え」
「恐怖心」 「学習の仕方」 「友達やチームを観察」

問 2 器械運動の授業において、安全確保や技能向上のために行う補助の方法や考え方について、次の六つの語句を全て用いて 400～600 字程度で記述しなさい。なお、用いた六つの語句には、下線を引くこと(複数回用いた場合にも、その全てに下線を引くこと)。

【語句(使用する順番は問わない)】

「直接補助」 「間接補助」 「正しい運動経過へ導く」
「場づくり」 「そばにいるという安心感」 「運動課題を正確に把握する」

外国語(英語)

問 1 外国語科における，将来就きたい職業を題材にした学習を想定して，次の各問いに答えなさい。なお，解答用紙の行頭 1 文字目に(1)～(3)の問題番号を書いた後に答えること。

- (1) 学習単語としてどのような職業を選択するか。あなたの考えを理由とともに 200 字程度で記述しなさい。なお，英単語を書く場合は，解答用紙のマス目に合わせる必要はない。
- (2) 学級全体で学習していない職業について発表したいと希望する児童がいた場合，どのように対応するか。あなたの考えを理由とともに 200 字以内で記述しなさい。
- (3) 自分の将来就きたい職業をみんなに知られることに抵抗がある児童がいた場合，どのように対応するか。あなたの考えを理由とともに 200 字以内で記述しなさい。

問 2 次の英文は、スピーキングの指導におけるコミュニケーション活動について書かれたものである。英文を読んで、下の各問いに答えなさい。なお、解答用紙の行頭1文字目に(1)~(3)の問題番号を書いた後に答えること。

Claudine Kirsch(2008).
Teaching Foreign Languages in the Primary School

許諾を得ておらず不掲載

- (1) Horwitz によれば、下線部①の活動が果たす役割は何であるか、50 字以内で記述しなさい。
- (2) 下線部②と下線部③の違いとは何か、80 字以内で記述しなさい。
- (3) 下線部④を実現するために考えられる教師の方策を 100 語以内の英語で記述しなさい。なお、解答用紙のマス目に合わせる必要はない。